



Sea Breeze 79 湘南学園は、創立79年です

恩師をたずねて 矢萩照男先生(小学校)  
在校生紹介 八田有里さん  
シリーズ 湘南学園史 第3回

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会公式サイトで検索 <http://shogak-doso.org/>

## 同級生対談 湘南ビーチFM DJ 竹下由起さん

結局、ここにいる  
とっておきの場所だよ

聞き手 村田わかな

のびのびと個性をのびす、貴重な教育をしてくれる学校。小学校の通信簿が「のびる芽」でしょ。芸術コースから桑沢、個性的に生きていられるのも、ここで育ったからか、学園に入れた親が個性的だったのか？ この空気って、土地柄か…のんびりしていますよね。(村田)

わかなは、マイペースだったでしょ、私は、小学校3年の時に転校して来て、直ぐに学級委員やったり、真面目な優等生タイプって思われていたみたい。(竹下)



撮影：村田わかな

私は、お天気が良いと海で桜貝拾って、遅刻して行ったり。そう言えば、オタケも抜けてる所あったわよ、中学の頃、スカートはかずに来た事あったでしょ。(村田)

真冬にね、先にコート着て、そのまま。滝川先生が、「うちの竹下がスカート～」って、職員室で大笑い。みんな先生とも仲良かったしね。そうそう、マイムマイムの時、先生のあだ名叫んだり。運動会に芸能人の父兄が来ていて、親の方が喜んでいたりしましたね。(竹下)

二人とも、帰りの電車の方面が一緒に仲良くなったのかしらね。そう言えば、小学生の頃、東海道線のホームで電車待っているときは、いつも駅員さんとおしゃべり。ある日「やってみるか～？」って、駅のアナウンスさせてもらった事が。「何番線、次の電車は～」ってやつ。

翌日、音楽の先生が、私の声を聞き分けていて、「昨日、アナウンスしてたでしょ」って。流石よね。(村田)

まちも人も学校も、あっけらかんとしたおおらかさがあった気がする。高校は埼玉で寮生活だったのだけど、「湘南の子なんだ」って言われて気付くのよね、この良さ、ゆるさ？ 培ったものの尊さ。ここにいる時は、「湘南」って言わないじゃない…？ 祖父母の代から海辺に暮らし、学園に通い、今はDJとして、そんな、とっておきの場所から発信できるのは、魅力的です。(竹下)

竹下由起 小3から中学まで湘南学園(中S56年度卒)。武蔵野音楽大学付属高校、同大学ピアノ科を経て、現在、湘南ビーチFMのDJ。地元のみならず、音楽業界に広くネットワークを持つ。<http://yukibreeze.exblog.jp/>

村田わかな 幼小中高、姉と共に湘南学園(高S59年度卒)。桑沢デザイン研究所卒業。日本航空株式会社を経て、現在、フリーランスのフォトグラファーとして、雑誌・広告の写真撮影を中心に活動。<http://www.muratawakana.com/>



(葉山 ラ・マーレにて)

## 森稔氏を偲ぶ



一昨年の松ぼっくりフォーラムでご講演頂いた、中学第1期生、森稔氏（森ビル会長）が3月8日逝去されました。同級生、鈴木健次氏より追悼の辞を頂きました。森氏の学園へのご貢献に感謝すると共に、ご冥福をお祈り致します。

### 森 稔君追懐

鈴木健次(中S24年度卒)

去年の3月11日に森稔君に会うことになっていたのが、あの地震で実現しなかった。その後彼は体調を崩し、11月に会ったのが最後になった。左下はその時の写真で、こんなに晴れやかな表情で「もう大丈夫。ゴルフもやった」と言ったのに……。数年前、NHKの番組で「親父がなかなか社長を譲ってくれなくて苦労した。だから当分、僕は社長は辞めないよ」と私に語った彼が、突然社長の座を降りたと聞き、健康の問題が深刻になったの



ではと思ったが、最後迄病室で陣頭指揮に当たっていた様だ。夫人によれば、死の前日も「じゃあ、また明日」と、ベッドで夫人と辻社長に手を振っ

て別れ、その直後に容態が急変したという。

森ビルは父君森泰吉郎氏の創業だが、アークヒルズや六本木ヒルズなどの大規模な再開発は稔君の発想で実現した。葬儀の日、弟の森彰氏はこう語った。「私はサラリーマンだったんですが、親父に『稔が金を使うことばかりやりたがって困る。おれ一人では抑えきれないからお前も来て一緒にやってくれ』と言われて森ビルに移った。兄は父の死後20年、やりたい事をやり、世界一のデベロッパーになりました。』

文学青年だった森君に、彼のやったことをノンフィクションにまとめたら貴重な現代史の記録になると勧めたら、「原稿用紙に書くのは君がやってくれ。僕は大地に作品を書く」と言った。日本には再開発を妨げる規制が多く、このままでは東京はソウルやシンガポールに後れをとると憂いていた。「ヴァーティカルガーデンシティ垂直型庭園都市」という彼の夢を推進するために、あまりに煩瑣な規制を外して東京を特区にする必要がある、と熱っぽく語った彼の口調が忘れられない。森君は東京の大地ばかりでなく、アジアの大地を俯瞰して壮大な仕事を展開中であつた。いま、上海に第2のプロジェクトが始まっている。彼の描いた計画の、さらなる実現を祈るばかりである。



撮影(左上、右下):村田わか

## 学園トピックス

### 募集状況及び大学進学状況

**幼稚園** 3年保育は60名の定員に対して50名が入園しました。2年保育については、60名に対し57名と、ほぼ定員になりました。

**小学校** 定員108名に対し82名が入学しました。定員には及びませんでしたが、昨年比17%増加、都内・県内で最も増加率が高くなっております。次年度は、校舎竣工をバネに更に努力致します。

**中学校高等学校** 私学の募集を取り巻く情勢が厳しさを増す中、海に近い立地から、今年度は大震災の影響にも直面致しました。内外の説明会・相談会や塾訪問、広報ツールの拡充など入試広報活動の精力的な展開により、最終的には前回入試に引き続いて出願者数、受験者数共、二年連続の増加に恵まれました。新中学1年生は、5クラス209名でスタート致しました。

**今春の大学合格実績** 上位難関校の合格実績は、過去最高の成果。「こだわりの第一志望校」を掲げて粘り強い指導・助言を重ねた学年・教科の先生の期待に応えて、卒業生諸君は大きな成果を実現してくれました。あとに続く後輩達への大きな希望と励ましになっています。

#### 【国公立大学】

東京	2(2)
東京工業	2(2)
一橋	1(0)
首都東京	2(1)
東京学芸	2(2)
東京海洋	1(0)
横浜国立	2(2)
横浜国立	2(2)
横浜市立	5(5)
県立保健福祉	1(1)
広島市立	1(0)

#### 【主要上位難関大学】

早稲田	33(27)
慶應	12(9)
上智	19(18)
東京理科	12(10)
学習院	6(6)
明治	40(35)
青山学院	13(11)
立教	28(26)
中央	25(22)
法政	24(20)

( )内は、現役合格者数

## 我が“彩女結花バレエスクール”

矢飼彩女

(山本・高S37年度卒)

独立し教え始めてまる35年、踊って64年……自分でも吃驚。レッスンの音楽が始まると、自然に身体が喜びいっぱい動き始めます。好きという事は凄いエネルギー。父兄から「うちの子は才能ありますか？ バレエに向いてますか？」と聞かれ「踊ることが喜びか、嫌かです」と答えます。身体が柔らかいとか、硬くて



ダメだとかいう問題ではありません。踊る事が好きで嬉しくて、これが才能。特別な事は無くコツコツ練習の日々。

それが喜びとなったら辛くても悔しくても夢に向かってスタート。何事も継続できる人は必ず将来何かのカタチに辿り着くものです。うちの特徴はその人の個性をつぶさずに、尊重しながら引き出しながらレッスンで振付して舞台にのせる。生徒によくこんな話をします。この地球に70億人いても貴女という人間は一人だけ。他人と比較するのはナンセンス。違うからこそ皆必要だし大切、自分をしっかり見つめ、さらに認めて愛しなさい。そうすれば皆と仲良くでき踊りも上手くなる。一人ひとりの個性を大切にしながら皆が調和していると感じられるレッスン風景であり舞台、無限なる美に向かって共鳴振動！ (茅ヶ崎 TEL. 0467-82-0236)

## 鶴沼書店

福地美沙子さん(高S34年度卒)

昭和7年、現店主の父であり、戦前戦後の鶴沼の貴重な写真を残した故福地誠一さんが開業。当時は鶴沼唯一の書店であった。学園に通う生徒は勿論、近在の方々に愛され続けて80年。惜しまれつつも6月で閉店。「周りは随分変わりましたが学園のお陰で今まで来ました。同窓生も大勢顔を見せてくれて、感謝しています」との事でした。(鶴沼海岸駅前)



(取材 立川元彦)

## 「花火の夜に」で新人賞

## 佐々木貴行さんに聞く

(高H7年度卒)

デビュー作「花火の夜に」にて、2008年、ART BOX 絵本新人賞を受賞された佐々木さんにお話を伺いました。幼い頃から、絵を描くのが好きだった佐々木少年は、小学生の時、木村先生の朗読に触れ、絵と物語が相まって展開してゆく独特の世界に



魅了されて、絵本作家を志したそうです。氏は、「自分の絵は《物語性の強い絵》であるのが特徴です。」と語ります。更に、「湘

南学園を思い出すと、《海・山・松》が浮かび、それらが創作意欲を掻き立ててくれる。学園にいて良かったと感謝しています。」と続きました。

近年、同級生で親友の笹浦さんと「えほんをよむ」という朗読劇を学校に提供、川崎市から表彰され、今年、木村先生の依頼で、学園の年賀状の絵を描いたとのこと。

「これからも生徒の才能を引出してくれて、勉強以外の人間らしさを教えてくれる学園であって欲しいし、先生と生徒の絆の強い学園であって欲しい。」と語られました。

### 佐々木貴行氏プロフィール

2002年 東京工芸大学デザイン学科卒業

2004年 同大学大学院修了(メディアアート専攻)

鎌倉を中心に個展、「えほんをよむ」等を開催、絵本作家・イラストレーターとして活動中。

(取材 山口英昭)

## レストラン イタリア館

川崎賢さん(高S39年度卒)

平塚で開店し早くも34年。イタリアンレストランが珍しかった当時から、今も尚、変わらぬ人気店。オーナーシェフの川崎さんは、日本でイタリア料理を広めた六本木のレストラン・アントニオで修行。大学卒業後、料理人を目指していた70年代、スイスでの修行中に知り合い、師事されたとのこと。学園の同窓会も開かれている。(TEL. 0463-21-6919)



(取材 広報部)

学園と文化芸術・スポーツなど



1938年(昭和13年) 剣道練習風景(旧講堂)



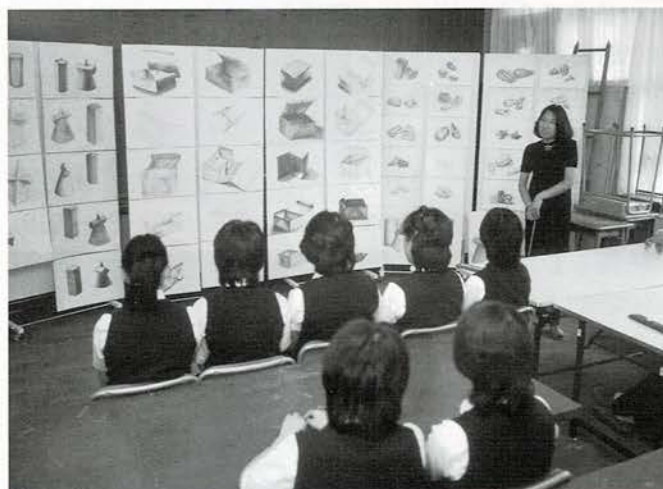
1953年(昭和28年) 片瀬西浜での水泳講習会  
中央は、元オリンピック選手の峰島先生



1978年(昭和53年) 中学校スキー教室



1983年(昭和58年) 小学校水泳大会  
1959年完成のプールは、國井博隆氏の御寄贈



1983年(昭和58年) 芸術コース授業風景(美術コース)  
芸術コースは1968年(昭和43年)スタート



1983年(昭和58年) 芸術コース授業風景(音楽コース)  
惜しまれつつも1987年(昭和62年)に廃止

## ブラジル物語 湘南学園卒業生ブラジル雄飛の50年

## 連載第2回



シュラスコ風景

学園から、はるかブラジルに旅立ち前半世紀。慣れない外地での生活も、今は戦い終わり安定した生活ぶりを知らせて頂きました。

ブラジル・サンパウロより  
本庄敏二郎(高S29年度卒)

《私(本庄)は湘南学園を卒業して57年になります。故郷日本を襲った大災害にはるかなブラジルからお見舞い申し上げます。この原稿を書いている1月25日は現在居住しているサンパウロ市の創立458年(!)の記念日で休日です。ブラジルに来て50数年が過ぎましたが、この広い国のほんの一部しか訪れていません。定年になって時間が取れたらブラジルの全ての州へ旅行したいと考えていましたが、まだ実現していません。楽しみは先に残しておきましょう。

日本ではブラジルを地球の裏側の国と表現するようですが、ブラジルでは日本を地球の裏側の国とは言いません、反対側にある国と表現します。地球のどちらが表でどちらが裏なのでしょう。

戦後のブラジルのインフレーションはすさまじく、気の遠くなる様な超インフレを経験しました。給料が上がっても上がってもインフレに追いつかず、いつも政府が定めた最低賃金と同じでした。通貨も下落するたびに変更され、平均して一つの通貨が10年と持ちませんでした。ブラジルは広い国内に無尽蔵に眠る資源を担保に外国から借金をしまくりました。それがインフレの原因になったのですが、不思議なことにそのインフレのお蔭で現在では、多額の累積対外債務は完済出来、石油の自給率も100%になりました。最近では新興経済勢力BRICs(ブラジル・ロシア・インド・チャイナ)の優等生として自信を持つようになってきました。

ブラジルに来て一番感じたのは人と人の付き合いの濃さで、それは家庭も友人間も仕事の場でも変わりありません。何かあるとすぐに大勢集まってバーベキューをしてお酒を飲みます。ブラジルのバーベキューは、シュラスコと言って日本の焼き鳥のお化けのようなもので、50センチ以上もある木の串に牛肉をさして焼きます。もう

もうと煙が立ち込め、一本食べれば満腹ですが、「もっと食べもっと食べ」とはやし立てながら楽しめます。

ブラジルはキリスト教徒が6割強なのでクリスマスは盛大に祝い、家族、友人達と共にそれぞれ贈り物を交換します。誕生日を祝う習慣も、ほとんどの家族や友人間、会社内でもキチンと盛んに行われています。

私はサンパウロで結婚し、三人の子供と混血の孫が三人となりました。昨年5月、息子の長女と次女の誕生祝いに呼ばれました。長女は5歳、次女は1歳ですが、その長女が親に頼み、「どこのサロン」を借りて自分達のパーティーをやりたいと決めたそうです。学校の級友のパーティーに呼ばれたとき、どこが一番素晴しかったか覚えているのだと言うのだそうで、さすが女の子だと感心させられました。学校で級友全員に誕生日の招待状を手渡します。もらった子の親はプレゼントを用意して出席の返事を出します。当日はクラスメート達が贈り物を持って親と一緒に出席します。親は親同士、一杯飲みながら、子供達が会場の遊戯施設で遊ばまわるのを見守っています。途中、食事が出され、最後は皆が集まりお祝いの歌を歌って、主役がケーキに立てたローソクの火を吹き消します。ケーキには主役の年の数字が立てられており、どの子もこれが一番やりたいセレモニーなのです。20人位の小さなクラスでも月に、1、2回はパーティーがある計算になります。それに親の友人とか親戚、お隣さん、名付け親などが集まり、人数はどんどん増えていきます。

昨年日本は大きな災害に見舞われましたが、ブラジルでは地震も津波も台風もありません。北部で霜がおりることはあっても大雪は見られません。日本企業のブラジル進出は70年代が盛んでしたが、最近再び日本企業進出のニュースが増えてきました。ブラジルの資源とBRICsとしての発展が評価されてきたのでしょうか。

湘南学園で学んだ三年間、また、B地区の古い校舎などを懐かしく思い出しました。同級生達も今では70歳半ばを超えました。リオデジャネイロでサッカーWカップとオリンピックが開催される事になりましたが、その時、誰かと会えることができれば楽しいだろうな……。》

混乱した戦後の日本青年の将来を案じ、青年に夢を託された内藤さん。それに応え志を持って雄飛され、現在では21世紀の国と言われるブラジルでその基礎を築く一助となられた学園出身の皆様ご苦労様でした。ラテン国特有の文化の中で楽しまれたり、苦労したり、色々あったことでしょう。

(本庄敬三郎・桑島宏忠)

## 恩師を訪ねて

### 矢萩 照男 先生

昭和25年～昭和63年 小学校理科ご担当、  
また、梶原幼稚園園長をされた矢萩先生に  
お話を伺いました



教員資格取得当初は、腰越小学校に勤務していました。ある日、校長から「湘南学園の宮下園長とお知り合いですか？ 宮下先生から学園に来て欲しいと懇願されている。」と。全く面識も無く湘南学園の存在も知らなかつたので、お断りしましたが、校長から、せっかくだからと勧められ、校長、教頭先生と共に挨拶に出向いたことを忘れません。後に、何処で私について知ったのか宮下先生にお尋ねしても、いつもの微笑、とうとう、教えて頂けませんでした。宅地開発に伴い、幼稚園誘致



(昭和31年遠足)

したので、お断りしましたが、校長から、せっかくだからと勧められ、校長、教頭先生と共に挨拶に出向いたことを忘れません。後に、何処で私について知ったのか宮下先生にお尋ねしても、いつもの微笑、とうとう、教えて頂けませんでした。宅地開発に伴い、幼稚園誘致

の話が学園に持ち込まれたのですが、当初は園児も少なく、苦勞したのを覚えています。小学校では園外の仕事も増え、私学小学校連合会の全国大会に於ける研修の際、岩石に関する論議に端を発し、理事をさせて頂きました。長滞の林間学校は、児童にとっても、楽しいひと時でしたが、宿舎に隣接する博物館での化石や岩石に関する勉強は教職員にも参考になりました。この種の課外授業は、当時まだ珍しく、小学校からの自然科学教育として大変素晴らしいと評価を頂き、研修担当理事として全国の先生方とお付き合いする機会も増え、多忙な日々を過ごしました。退職後は学園を訪れる機会は殆んど在りませんが、先日、プール取り壊しの式典へ出席させて頂きました。当時、國井理事長のお宅に、金メダリストの峰島先生(P4参照)と、念願のプール建設に伴う寄付のお願いに伺い、快く応じて頂き、とても感謝致しました。式典にいらしていた國井さんの奥様に、ご挨拶する機会を逸し申し訳なく思っております。昨年同窓会報を拝見し、女優の鶴田真由さんの担任時、「先生の新婚旅行についていく」とせがまれた事が昨日の様に思い出されます。来年の創立80周年、心よりお祝い申し上げます。

(取材 村上一彦)

## 在校生紹介

### まずは 自国の文化を 知ること

2011年度  
インターナショナル  
セミナーズを通じて

前年度生徒会総務委員長  
八田有里(高3)



(ホストファミリーと)

他国の文化を知りたい、友達を作りたいとの思いから、昨年度、オーストラリアのメルボルンノックス校との交換留学(中期留学)に参加しました。色々な国の友達ができ、他国の文化を知るとともに、私は彼らから、自分の国の持つ素晴らしい文化に気付かされました。アニメ、ファッション、食事、建築など、日本には様々な年代の人が楽しむことができるような文化がたくさんあるということ。

自分のこと、自分の国のことをよく知っていなければ

相手に伝えることはできません。将来、いろいろな国の、たくさんの人と関わっていく中で、様々なことに興味を持ち、勉強をしていくということがとても大切だと思います。全力で過ごした2ヶ月間はあっという間に過ぎ、私は時間の大切さも痛感しました。本気で過ごしていると、時間は本当に早く過ぎてしまいます。残り一年間の学校生活では、語学はもちろんのこと、留学で学んだ全てのことを活かし、広い視野をもって全力で、楽しみながら勉強を続けていきたいと思っています。



(ノックス校の生徒達と)

世界に羽ばたけ、湘南学園生！

中高国際教育委員会主任 荒木 伸浩

上海外国語大学の中庭では、朝6時台から、外国語のテキストを開いて朗読に励む学生が大勢いました。その附属中学校では、そこに通う中国人の子ども達がみな英語を自由に使いこなすだけでなく、第2外国語として学習している日本語を、学習を始めてからわずか6ヶ月しか経っていないにも関わらず、原稿を見ないで日本語のスピーチをしていました。藤沢市と姉妹都市関係を結んでいる雲南省の昆明では、「故郷の両親が一生懸命に働いて私達の学費を払ってくれているので、しっかりと勉強しなければならないと思っています」と、私達日本人が忘れてきている大切な気持ちをしっかりと持って、日本語の習得に励む学生が珍しくありませんでした。

イギリスのエクセター市のセント・ジェームズ・スクールでは、勉強があまり得意でない生徒に対して、教師がマンツーマンでいねいに指導していました。また、生徒が事務局で窓口業務を手伝ったり、外来者への学校

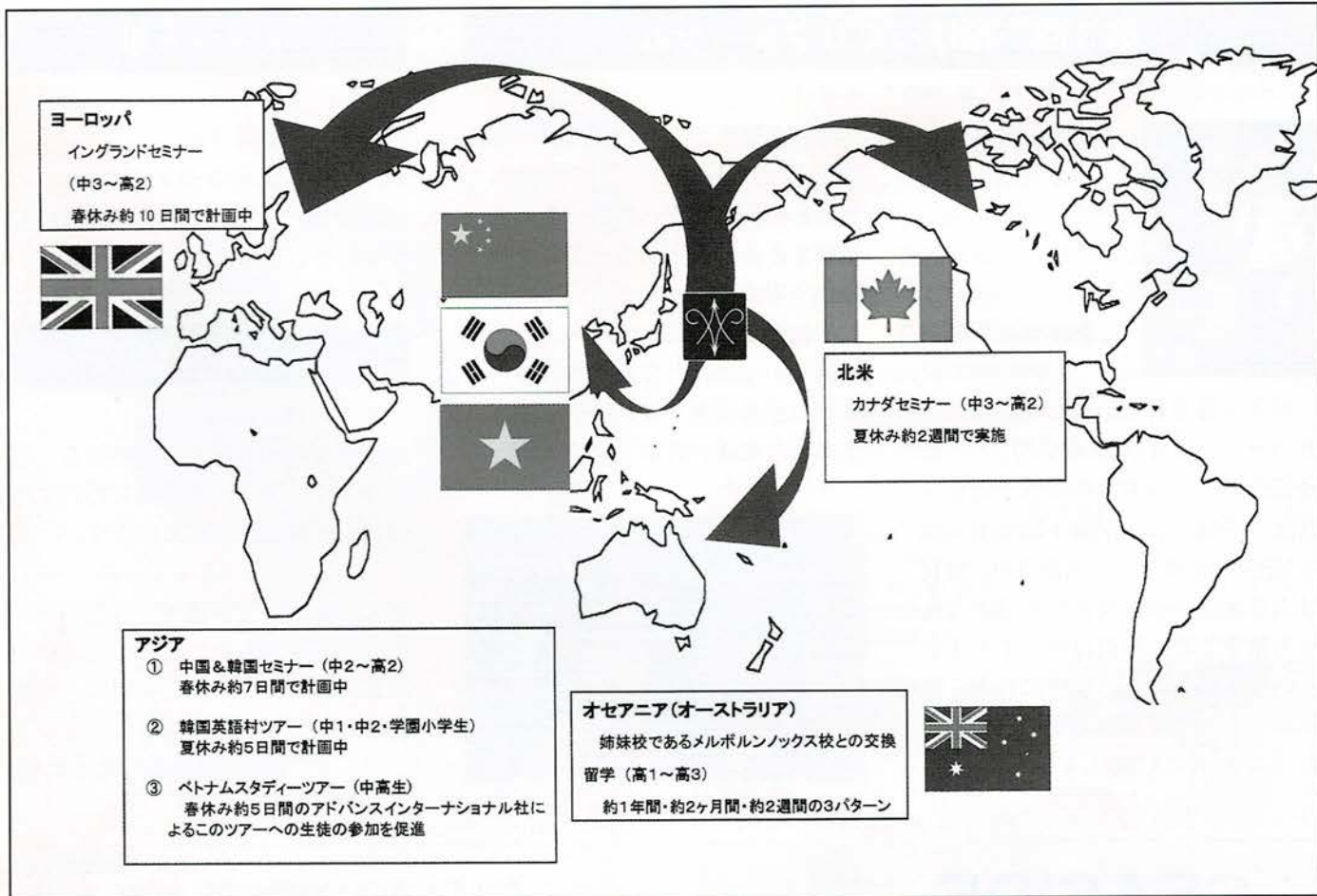
訪問のガイドをしたりして、生徒に「社会の中での役割を持つ」という貴重な経験をさせる取り組みが行われていました。いずれにしても、将来において社会を創造する子ども達を国の財産として考えているイギリスならではの当たり前前の光景であったものと思います。

湘南学園では、現在行っているカナダ・オーストラリア・韓国でのセミナーに加えて、本年度より、イギリスと中国での国際交流のプログラムをスタートさせます。

学園生に、先に述べたような中国やイギリスの子ども達にも直接触れてもらい、国境を越えて、異なる生き方をして人々から、多くのエネルギーを吸収し、グローバルなものを見方を養ってほしいと思っています。



(オーストラリアセミナーでのメルボルン動物園にて)



### 絵画、彫金、キルトなど多彩に

昨年10月1日(土)～2日(日)学園祭が開かれ、同窓会は会員による展覧会やキルト教室などで参加しました。展覧会は「ふるさと・学園・シニアパフォーマンス」と題し、中学3回生慶応大学教授の宮下啓三さん(宮下正美元学園長のご子息)をはじめ17名の方々に出品して頂き、絵画、版画、写真、手芸品など多彩な作品を展示する事ができました。特に高

校3回生、洋画家の山本宏一さんの油絵は圧巻。会場にて、宮下啓三さんが仲本学園長の似顔絵を描き、山本宏一さんがそれに彩色するひとコマも(写真)。キルト教室は、高校9回生の亀川登志子さんの指導のもと、小学校から高校までの児童生徒達やお母さん達が楽しそうに習いました。

今年も学園祭でキルト教室を計画しています。是非お出かけ下さい。宮下啓三さんは、5月6日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。



(左から山本氏、仲本園長、宮下氏)

- 9月8日(土) 学年幹事会  
2012年度同窓会総会および懇親会
- 9月29日(土)～30日(日) 学園祭  
同窓生による作品展・キルト教室  
PTAによるバザー(9月30日のみ)
- 10月または11月  
松ぼっくりフォーラム(日程は改めてHP等でご案内致します)

## 募 集

情報をお寄せ下さい 同窓生のお店や展覧会、こんな面白い人がいるなどの情報をお待ちしています。  
編集スタッフ募集 広報紙編集や取材、HP運営をお手伝い下さるボランティアを募集しています。  
何れも、同窓会ホームページの「お問い合わせ」よりご連絡下さい。

## 第3回 松ぼっくりフォーラム



### 「複眼的思考 のすすめ」

鈴木健次氏講演  
(中S24年度卒)

昨年7月2日(土)第3回松ぼっくりフォーラムが、湘南学園、PTA、後援会そして同窓会の共催で開催された。講師には中学第1回卒業で長年NHKの幹部として活躍され、現在は大正大学名誉教授の鈴木健次先生をお招きした。今回は中学1年生から高校2年生までの生徒に対する特別授業として行われ、学園関係者の皆さんと共に1,000人を超える聴衆

を前にお話を頂いた。演題は「複眼的思考のすすめ」、沢山の興味ある事例を紹介しながら物事を多面的に観察することの大切さ、情報を上手に使う事の大事さなどを説かれた。

生徒達からも鈴木先生のユーモアが楽しかった、とてもためになったなどの感想が多く寄せられ、フォーラムは大成功。鈴木先生ありがとうございました。



## 学園新人事

理事長：辻彰彦さん  
PTA会長：浦田智禎さん  
幼稚園長：古田優子さん(高S49年度卒)  
が就任されました。

## 編集後記

広報のサポートをお引き受けし、早くも3年。シーサイド発行時に1年の速さを痛切に感じています。

(広報部 村上一彦)  
震災、津波、放射能被害は偏西風に乗り…湘南地方とて決して他人事ではありません。学園は80周年、同窓会も岐路に立ち、大胆な若返りを！  
(同窓会副会長 高田和男)